

爽やかな季節となり、日中だけでなく朝夕も過ごしやすくなりましたね。少し前まで保育園の園庭ではたくさんの鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでおり、さらにその上を桜の木々が若々しい葉で優しく包み込んでくれていました。そして足元では子ども達が虫探しや砂遊びなどをしており、園庭全体がとても癒される空間となっていました。



さて、子どもの日も終わりましたので鯉のぼりとはしばらくお別れしましたが、子ども達は引き続き虫探しに夢中です。虫たちも子ども達に見つかるまいと、必死になって土の中にもぐったり葉っぱの陰に隠れたりしていますが、それでも虫探し名人たちにかかればすぐに見つかってしまい、砂遊び用のお茶碗やバケツに集められてしまいます。捕まえたたくさんの虫を嬉しそうに見せてくれるのですが、私も含めて多くの大人は虫が苦手です。目の前に突き出される虫から目を覆い、逃げまわります。自分も子どものころは虫が大好きだったのに、いつの間にか苦手になってしまったのです。その理由を考えてみると、幼少期は知識や経験が浅く、虫に対する恐怖心や嫌悪感よりも好奇心の方が強いからだということに気が付きました。大人になるにつれ少しずつそのバランスが変わり、いつしか逆転した時に、人は虫が苦手になってしまうのではないのでしょうか。

虫を平気な顔して手で掴む子どもたちはまだまだ純粋な証です。いつまでも好奇心旺盛なまま、いろいろな物に触れて探究する心を持ち続けてほしいと思います。



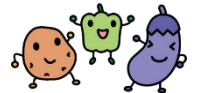
<トピックス> お米・野菜の栽培



ご近所の農家さんやお米屋さんにもお手伝いいただき、園庭に畑を作りました。トマトやキュウリなどの野菜の他、お米もこれから育てていく予定です。土づくりや苗の植え付けから子ども達にもしっかりとかわってもらい、まずは普段食べている食材が育っていく様子に関心を持つところから始め、少しずつ年齢に応じた活動に展開していきたいと考えています。

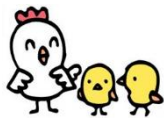


どうぶつ村



今年もたくさんの動物さんが保育園に遊びに来てくれました。ヤギ、ヒツジ、アヒル、ウサギ、ヒヨコ、モルモットなどなど、子ども達は大喜びでした。抱っこしてご飯をあげたり、頭をナデナデしたり。自分の頭にさせてもらっている子もいましたよ。小さな動物と触れ合うことで子ども達も優しい気持ちになれたようです。





子育てワンポイント!



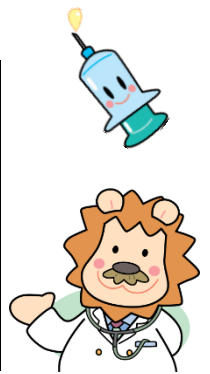
予防接種は、接種できる月齢や年齢が決まっています。特に乳児期は予防接種の種類や回数が多いので、しっかりと計画を立て、適切な時期に漏れなく受けることを心掛けましょう。

◆予防接種を受けましょう◆

子どもは感染症に対する抵抗が大人より弱いので、様々な病気になりやすく、また、重症化しやすい傾向にあります。日本を含む先進国と言われる国では、予防接種の普及によって、はしか等の発症は減っていますが、世界的に見ればまだまだ発症地域が多く見られるため、これからも注意が必要です。予防接種を受けることで感染症を予防し、仮に感染しても軽い症状で済みますので、できるだけ受けておきましょう。

<定期予防接種>

	接種開始時期	接種回数	ワクチン
Hib 小児用肺炎球菌	生後2ヶ月	4回	細菌性髄膜炎
BCG	生後5ヶ月	1回	結核
四種混合	生後3ヶ月	4回	ジフテリア、破傷風、百日咳、ポリオの混合
MR	1歳	2回	麻疹と風疹の混合
水痘	1歳	2回	水ぼうそう
日本脳炎	3歳	3回	日本脳炎



<その他の任意接種>

- ロタウイルス：生後2ヶ月から受け、1歳までに3回受けます。ロタ胃腸炎の悪化防止が目的です。
- B型肝炎：生後2ヶ月から計3回。B型肝炎は肝硬変や肝ガンになるリスクもあるため、予防したいものです。
- おたふく風邪：1歳から受け、小学校に上がる前の1年間に2回目を受けます。特に男の子は大人になってから感染しないようにしてあげましょう。



【子育て支援活動】 ～パートナー保育登録制度～

田無北原保育園では、在宅で子育てをしているご家庭や出産前後の保護者の皆様を支援しております。パートナー保育者として登録いただくと、育児相談や保育見学、園行事(※)への参加などが可能となります。詳細はお問い合わせください。

※対象行事の例：プール開放、スイカ割り、焼き芋会、お餅つきなど
(年度により異なる場合があります)



アクセス MAP (駐車場はありません)



西武新宿線「田無駅」または西武池袋線「ひばりヶ丘駅」からバス「北原二丁目」停留所より徒歩1分

お問い合わせ Tel : 042-467-8080

URL : <http://kitahara-ns.org/>

田無北原保育園 検索

==== 社会福祉法人 大誠会 ====
田無北原保育園 (私立認可園)
田無保育園 (公立園運営受託)

子育て情報「きたはら」は、子ども達の健康と心豊かな成長の支援を目的に、田無北原保育園が発行している地域情報紙です。ホームページではバックナンバーもご覧いただけます。